

## 令和2年度 第3回 湖西市環境審議会 会議録（要旨）

開催日時	令和3年3月2日（火） 10：00～11：37
開催場所	湖西市健康福祉センター3階 小会議室
出席者	（委員）6人（会長欠席） （事務局）5人

### 内 容

#### 1 開会

事務局 環境課長あいさつ、資料確認

事務局：本日は佐原会長が体調不良につき欠席であるので、湖西市環境基本条例第14条の規定により、会長代理を副会長である平井委員にお願いする。

#### 2 副会長あいさつ

平井副会長ごあいさつ

平井副会長：今、事務局から話があったとおり、会長が体調不良で欠席とのことなので、急遽、私の方で進行をさせてもらうようになった。よろしく願います。

環境省と経団連が循環経済パートナーシップを立ち上げて合意した。まさに菅総理がよく言っている環境と経済の好循環ということである。環境に一生懸命取り組んでいくということは、そこにグリーンイノベーション、環境ビジネスが当然構築されていく。これによって環境と経済の好循環、我々は昔から環境と経済の両立という言い方をよくしてきたが、そんな流れが出てきたということである。昨年10月に、菅総理が2050年のカーボンニュートラルを打ち上げた。これが非常に大きいわけであり、一斉にそういう方向に今動いている。私も国のいろいろな委員会等にも出ているが、去年の10月までと、このごろでは環境省の元気度が違う。安倍総理、前総理のときには、あまり環境、環境というのはなかったのだが、菅さんが総理大臣になってあれほど環境に熱心にやってくれるとは、国の省庁の人も意外だったなとうれしい悲鳴を上げている。こんな状況にある訳である。よく言われるグリーン化社会とデジタル化社会、これが日本の2つの柱ということである。そういった循環経済とはなんなのか、これは皆さんお分かりかと思うが、大量生産・大量消費・大量廃棄という言葉がよく言われた。使い捨てでゴミをどんどん増やしていく。結果的にそれがマイクロプラスチック問題になったり、食品ロスの問題になったりしているわけであるので、そういうことはやめていって、とにかく資源の再循環、よく3Rと言われている、最近では静岡県でもマイクロプラスチック問題では6Rという言い方に変ってきている。そういうことでこうした循環型社会を構築していく。それで資源を大事にしていって、結果的に持続可能で低炭素の社会を作っていくのがこれからの10年・20年の大きな勝負になる。そんな状況にあるのかなということである。そこに先ほど申し上げた循環と低炭素ということの中で新

しいビジネスが生まれてくる。そこで経済の活性化も図っていくというようになっている。

そういう流れの中でこうした環境基本計画、これは国でも第5次環境基本計画というものがあり、私も国のこの計画にはいろいろ関わったのだが、国が非常に今言っているのは、地域循環共生圏構想の中で地域、地域、地域毎に地域の資源を活用した地域の特性をいかした循環型社会を構築していく。結果的にそれが環境と経済と社会の好循環を生んでいくんだと、こういう話になっている。そういう中でも湖西市においても今年度1年間をかけて新しい環境基本計画、第3次の湖西市環境基本計画の策定に向けて委員各位にいろいろご審議をいただいたわけだが、そういう中できょうは答申案についてご議論をいただくということで、きょうはまとめの段階になっている。皆さま方に有意義な発言をいただくことを願います。よろしくお願ひしたい。

### 3 審議事項

#### (1) 第3次湖西市環境基本計画（案）について

平井副会長：次第の審議事項の(1)「第3次湖西市環境基本計画（案）」について事務局から説明をお願いします。

事務局：前回からの環境報告書2020の訂正箇所及び第3次湖西市環境基本計画（案）の修正箇所について説明

パブリックコメントの意見及びその対応方針について説明

#### <質疑・意見>

高柳委員：63 ページの背景の6～7行目の件だが、現地を特定できないような一般的な表現になっているので良いと思う。

清水委員：先ほどのご意見と同じ思いである。

ほとんどのところはだいぶ直していただいているので結構である。

高柳委員：64 ページで首相の所信表明の先ほど言っているカーボンニュートラルに触れている。ただ、表明があったという表現にとどまっている。今後においてはいろいろな環境政策を進めていく上でもここが重要なところになってくる。今回は政府の方から具体的な方針が出ていないので、盛り込むことは出来ないが、次回の修正のときには、その辺がはっきりと出てくると思うので、そこを中心に見直しをしてほしい。

もう1点であるが、市の環境センターの再稼動が前提となっている。それに伴っ

て、リサイクル率は向上するようになっているが、残念ながら最終処分量は大幅に増える。これは、湖西市の焼却場では浜松市と違って燃やせないものが出てきてしまうというところからくるのか。

事務局：今までは焼却してなかったということで、焼却灰が無かったのが、令和6年2月から焼却を再開するというので、焼却灰が発生するというので、その分がどうしても・・・、浜松市はそれを再利用するということをやっているのだが、結構それにはお金がかかるので、湖西市の場合はそこまで計画をしていない。焼却灰が出るということで最終処分量が増えることになる。

高柳委員：わかりました。我々企業の方も環境を備えなければならないとわかっているのだけど、片やコストとの兼ね合いでどこまでやるかというのを常々悩ましく思っているので、わかりました。

事務局：先ほどの1つ目の排出ガスゼロの件だが、先日、静岡県の方から2月25日の（県議会2月）定例会の一般質問で、温室効果ガスゼロとする低炭素社会の実現を目指すという旨が表明された。今後、県の方でも来年度新たな地球温暖化対策実行計画を作るということで、その中で2030年までの目標や施策を設定していくと聞いている。当然、それが出れば、次に市町の方へそういった計画策定とか指示も出てくると思うので、先ほどご意見いただいたように見直しの中で考えていければと考えている。

鈴木委員：令和22年に向けて、今後も引き続いて、行政の皆さんもそれなりに努力して、悪臭の苦情をゼロにもっていってもらえればと思う。

小原委員：私も三ツ谷の方に住んでいるけど、やっぱり悪臭が結構いろいろ問題になって、時々あけぼの方といろいろ話をする機会があるのだが、豚のあれだと思うのだけど、結構悪臭の対策というのは難しい問題だと思う。そんな中で一生懸命やっただけなので、このような形で良いかと思う。

それと地球温暖化ということでいろいろ取り組んでいるが、子どもたちにアースキッズという形で私もお手伝いをしている。これからは市としてはアースキッズの方も今までどおり2校ぐらいの形で取り組んでいただけるのか。

事務局：来年度も取り組めるように予算の確保はしている。対象となる学校へは事前に来年度のプログラムについて相談をさせてもらっている。

小原委員：結構子どもたちも一生懸命やってくれる。結構効果的な事業だと思うので、これからも是非やっただけで、また、昔はアースファミリーと言って各家庭でいろいろ地球温暖化に取り組んでいただく取組があったが、なかなか県の方も・・・。アースファミリーというのも各家庭でやっていただくと結構良い効果になると思う。そこらも併せてお願いしたい。

事務局：アースキッズは元々県の方の主導で地球温暖化防止を子どもたちを通じてそうい

った取組をしている事業だが、県の方の補助が今まであったが、だんだん減ってきて、来年から補助がなくなる。各市町で取組の縮小ややり方の変更ということが出てきているということ踏まえた上での質問ということで、湖西市にとっては大変有意義な事業だと考えている。市の出費が少し増える形になるが、継続していきたい。やり方を少し変えていくということを考えていかなければならない。そういったことで、子どもたちを通じて地球温暖化防止の推進をしていくということは非常に大事だと考えているので今後も続けていきたいと考えている。

坪井委員：悪臭については、私もときわに住んでいるから、風向きによってすごく臭うというのが現実である。市の方が一生懸命にやっけていただいているので、この方は良いと思う。

私は浜名漁協にいますので、浄化槽の件について、非常に信じる人が少ないということで、藻が枯れたりあさりも非常に少なくなったという点もある。原因がなかなか良くわからないということで、今年から何年かかけて県の方から調査をしてもらうということで、その結果で浄化槽の件については市長さんのところへお願いにあげたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

高柳委員：44 ページのところにある来訪者満足度であるが、来訪者満足度自体は良いと思うが、めざしているのは環境と経済の両立であるから、この満足度が高まった結果として、湖西市に来られる方、湖西市を承知してくれる方が増えたかどうか、結果につながったかどうかをサブ指標としてあった方が良い気がする。

事務局：この辺については、湖西市の総合計画とか観光基本計画とかがあるので、そういった中で対応を考えていきたい。

平井副会長：全体的には結構いろいろと皆さん方からご議論いただいて、SDGs の対応も結構入れていただいているし、大体良いのかなと思うが、また、先ほど高柳委員の方からもお話があったけれど、次期の策定するとき、5年後になろうかと思うが、今他の市では、気候変動適応計画とか生物多様性の戦略、これは入れなければいけないということではないが、入れることに努めるようになっていっているので、各市町村は、静岡県には村はないが。それとか地球温暖化の方の関係で言うと、区域施策編であるとか、それから先ほどカーボンニュートラルの話がでたが、今各市の方で「温室効果ガスゼロ宣言」を結構やり始めている。先ほど県の動向を見ながらという話であったが、ゼロ宣言なんかを結構やり始めている市もあるので、あまり遅れをとらなくて、湖西市も早くやっていただけたらと思った。いろいろな意味で時代を先取りした形で基本計画の策定のあり方もいろいろ研究していただけたら良いなと思ったので。

では、全体的には皆様方の方ではこの基本計画案について一定のご理解をいただ

いたという形にさせてもらってよろしいでしょうか。

委 員：異議なしの声あり

平井副会長：はい、ありがとうございました。

## (2) 答申書(案)について

平井副会長：いよいよ年度末になってきたので、答申になるわけである。ではその答申(案)ということで事務局の方から説明をお願いします。

事 務 局：第3次湖西市環境基本計画について(答申)案について説明

平井副会長：こういう形で皆様方にご議論いただいた結果を、影山市長さんに答申をする鑑の案である。こういうことについて、こういう部分を入れた方が良いではないかとか、ここのところはこういう表現に変えた方が良いではないかとか、ご意見があったらお願いします。どんなことでも結構である。

平井副会長：それでは、なければこれで答申をさせてもらうという形に進めていきたいと思うがよろしいでしょうか。

委 員：異議なしの声あり

平井副会長：ありがとうございました。

平井副会長：では以上私の方で進行を受け賜っている部分はこれで終了したので、皆様方にいろいろとご意見を受け賜ったことにお礼申し上げまして進行役をこれで降ろさせていただく。ご協力ありがとうございました。事務局にお返しする。

事 務 局：ありがとうございました。

#### 4 その他

事務局：本日の審議会の模様については、会議録にして公表させていただく。なお、市長への答申については、後日、会長と調整をさせていただき、会長からお渡しいただけるように考えている。また、会長の方のご都合がつかないようであれば、委員の皆様の中から代表者の方に出させていただいて対応していただくように調整させていただくので、よろしく願いしたい。

事務局：ここで報告事項をさせていただく。環境部の各課から現在取り組んでいる状況などについてご報告をさせていただく。

まずは水道課からである。

水道課から報告

- ・水道スマートメーター等のデータ利活用による共同研究（研究概要）について
- ・「水道料金収納業務等の共同化」の概要

事務局：ただ今の報告について何かご質問等ありますか。

事務局：ないようであるので、水道課からの報告を終わる。続いて下水道課からの報告である。

下水道課から報告

- ・下水道課主要事業について

事務局：下水道課に対して、何かご質問ありますか。

坪井委員：3回ほど視察に行ったが、水は確かに本当にきれいになっている。だけど、メッコとか魚が全然寄り付かないというような話で、市長さんとも話をしたのだが、浜松市と一緒に、県の方で調査をしてくれたときに、話に乗りますよということにしてある。あれを正確に測ってもらわないと我々のような素人ではわからないので、その後にお話しにうかがいたいと考えている。

事務局（部長）：きょうの新聞でもちょうど出ていたが、県の方で来年から3年ぐらいかけて調査に入るということで、その結果をもってそういった話になる。

坪井委員：実際に西の方だと、もう少しきたなくしている。りと窒素を多く流すような方法をとっている県があるそうだ。

事務局（部長）：愛知県の方でやっているのは、私の方でもよくわかっている。浜名湖に関しては、浜名湖の流域という形で計画があり、県の方が計画をしているので、市だけで単独で変えられない。先ほどおっしゃっていただいたとおり、県の方でそういったものを出して、なおかつ流域の指針を変えていただくというようなところから始まらないと、市単独で変えられないということがある。ちょっと時間がかかるが、申し訳ないがそういったことでうちが協力しないということは全くないので。

坪井委員：浜名湖の場合は、県の方で言わせると都田川の河川というような形になっているから、実際は掘ることはいくら掘っても良いと。埋めることはいっさい出来ませんよというような形になっている。砂を入れたりすると非常に良くなるのは目に見えているのだが、なかなかいろいろな方をお願いしているが、なかなかうまくいかない。

事務局（部長）：うちの方も重々承知している。

事務局：その他何かありますか。よろしいですか。次に廃棄物対策課の方から報告をさせていただきます。

#### 廃棄物対策から報告

- ・廃棄物対策課主要事業について

事務局：ご質問等ありましたらお願いしたい。

事務局：特にご質問等もないようなので報告は以上とさせていただきます。

事務局：それでは、環境基本計画の審議から始まり、環境部所管の各課の報告まで長時間に亘り、本日はありがとうございます。本年度最後の会議ということになるので、環境部長の川上から一言お礼のごあいさつをさせてもらおう。

環境部長：改めまして環境部長の川上です。どうもありがとうございました。環境審議会の委員を引き受けていただき、昨年度から2年間に亘って、特に今回については、第3次湖西市環境基本計画の策定ということで、通常であれば年1回程度の会議の開催ということだったのだが、今年度3回ご参加いただき、昨年度の1回から4回のご出席をいただき、ご審議いただき誠にありがとうございました。また、ちょうどコロナの感染拡大にかかった頃から始まったというような形で、開催についても危惧されたが、何とか防止策をとりながらということで、4回無事に開催することが

できた。皆様のご協力、本当にありがとうございました。最初に平井委員の方からもあいさつがあったとおり、菅首相に代わりましてカーボンニュートラルとかそういった環境に関する取組が特にとりだたされている。湖西市においても食品ロスの問題やマイクロプラスチックの問題であるとか先ほど小原委員の方からあったとおり地球温暖化防止の対策とかいろいろな環境に対する要望が強くなっている。今後においても先ほどの協議の中にあった畜産における臭気問題、そういったものを来年以降も真摯に取り組んでいかなければならないという状況にあるので、今後においてもご協力をいただきながら、湖西市の環境行政を進めていきたいと思っているのでよろしく願います。

## 5 閉会